



平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 川田テクノロジーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川田 忠裕  
(コード番号 3443 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 宮田 謙作  
(TEL. 03-3915-7632)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 2 日付の当社適時開示「過年度決算修正による見込みの概要および決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 8 月 9 日付「平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線    を付して表示しています。

以 上

【訂正後】



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東大  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	20,975	10.9	591	—	336	△30.5	316	△49.2
24年3月期第1四半期	18,921	△7.8	△118	—	483	△65.4	623	△43.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 241百万円(△61.6%) 24年3月期第1四半期 630百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	55.58	—
24年3月期第1四半期	109.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	95,666	28,512	29.6
24年3月期	93,748	28,442	30.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 28,362百万円 24年3月期 28,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	10.3	700	6.1	0	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期1Q	5,781,070株	24年3月期	5,781,070株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	82,110株	24年3月期	82,068株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期1Q	5,698,960株	24年3月期1Q	5,699,272株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3.	四半期連結財務諸表 .....	4
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
	(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
	(5) セグメント情報等 .....	8
4.	補足情報 .....	10
	受注、販売及び繰越高の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要等により国内需要が堅調に推移していることから、緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、欧州債務問題や円高の長期化、電力供給の制約や消費税増税への懸念など、今後の見通しについては依然として不確実性を残しています。

建設業界につきましては、公共工事は政府補正予算による震災への復興需要が期待されていますが、本格的な構造物等の建設には未だ至っておらず、今後の発注待ち状態となっています。民間工事においては、企業による設備投資は持ち直しの動きが見られるものの、熾烈な受注・価格競争は継続しており、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは受注量と利益の確保、徹底したコスト削減に取り組み、全社を挙げて業績改善に努めています。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高は11,745百万円（前年同四半期比3.9%増）、売上高は20,975百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

収益面につきましては、営業利益は591百万円（前年同四半期は営業損失118百万円）、経常利益は336百万円（前年同四半期比30.5%減）、四半期純利益は316百万円（前年同四半期比49.2%減）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は10,984百万円（前年同四半期比2.4%減）と前年度とほぼ同水準を確保しました。収益面では、追加・変更等への対応に注力したことに加え、既存工事のコスト削減に努めたことで採算が改善し、営業利益は840百万円（前年同四半期比43.6%増）と前年度を上回る結果となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、PC橋梁工事の施工は概ね堅調に推移し、売上高は5,763百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。収益面では、原価低減に注力した結果、営業利益は1百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）と損失を回避することができました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、年度繰越工事の進捗が順調に推移したことで売上高は2,863百万円（前年同四半期比55.4%増）となりました。収益面では、原価低減に注力したものの、採算の厳しい工事が増加したことで利益を圧迫し、営業利益は17百万円（前年同四半期比42.2%減）に止まりました。

## （その他）

その他におきましては、売上高は1,744百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。収益面では、事業採算の改善に向け原価低減と販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失71百万円（前年同四半期は営業損失324百万円）の計上となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における「資産の部」は、95,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,917百万円(+2.0%)増加しました。これは主に工事債権の回収及び大型工事物件の工事代金入金が進み、現金預金が2,087百万円増加したこと及び進行基準不採用大型工事の影響により未成工事支出金が690百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、67,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,846百万円(+2.8%)増加しました。これは主に大型工事物件の工事前払金の入金により未成工事受入金が1,495百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円(+0.2%)増加しました。これは主に剰余金の配当により170百万円減少し、当四半期純利益の計上により316百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の30.2%から29.6%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、経常利益及び当期純利益は当社持分法適用会社の損益悪化により前回発表(平成24年5月11日)の予想を下回る見込みであります。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	6,362	8,450
受取手形・完成工事未収入金等	33,043	32,275
未成工事支出金	696	1,386
その他のたな卸資産	646	671
繰延税金資産	17	22
その他	2,250	2,278
貸倒引当金	△217	△11
流動資産合計	42,799	45,073
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	5,160	5,138
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	1,460	1,461
航空機(純額)	1,512	1,463
土地	16,985	16,985
リース資産(純額)	2,543	2,429
建設仮勘定	27	26
有形固定資産合計	27,690	27,505
<b>無形固定資産</b>	880	869
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	882	779
関係会社株式	19,277	19,262
長期貸付金	526	527
その他	2,379	2,335
貸倒引当金	△703	△698
投資その他の資産合計	22,362	22,205
固定資産合計	50,933	50,579
<b>繰延資産</b>		
創立費	15	13
繰延資産合計	15	13
<b>資産合計</b>	93,748	95,666

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,517	21,367
短期借入金	7,765	7,300
1年内返済予定の長期借入金	6,168	6,443
1年内償還予定の社債	160	160
未払法人税等	78	21
未成工事受入金	3,343	4,839
賞与引当金	792	447
完成工事補償引当金	94	89
工事損失引当金	2,403	2,143
損害補償損失引当金	808	808
資産除去債務	5	5
その他	3,313	3,542
流動負債合計	45,453	47,169
固定負債		
社債	275	265
長期借入金	11,557	11,883
繰延税金負債	45	11
再評価に係る繰延税金負債	1,948	1,948
退職給付引当金	3,207	3,184
役員退職慰労引当金	254	252
事業構造改善引当金	40	40
資産除去債務	142	142
負ののれん	287	282
その他	2,096	1,974
固定負債合計	19,853	19,983
負債合計	65,306	67,153
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,771	12,917
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,863	28,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	38
土地再評価差額金	394	394
為替換算調整勘定	△80	△80
その他の包括利益累計額合計	414	352
少数株主持分	164	150
純資産合計	28,442	28,512
負債純資産合計	93,748	95,666



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	18,921	20,975
売上原価	17,459	19,061
売上総利益	1,462	1,913
販売費及び一般管理費	1,581	1,322
営業利益又は営業損失(△)	△118	591
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	31	20
受取賃貸料	55	52
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	497	—
貸倒引当金戻入額	306	3
その他	54	37
営業外収益合計	952	121
営業外費用		
支払利息	204	192
賃貸費用	130	127
持分法による投資損失	—	38
その他	14	17
営業外費用合計	349	376
経常利益	483	336
特別利益		
固定資産売却益	—	5
保険差益	328	1
その他	—	0
特別利益合計	328	7
特別損失		
固定資産除却損	10	2
投資有価証券評価損	5	—
独禁法違反に係る損失	3	—
災害による損失	7	—
ゴルフ会員権評価損	—	12
退職特別加算金	—	5
その他	1	1
特別損失合計	27	21
税金等調整前四半期純利益	784	322
法人税、住民税及び事業税	125	21
法人税等調整額	11	△3
法人税等合計	136	17
少数株主損益調整前四半期純利益	647	304
少数株主利益又は少数株主損失(△)	24	△12
四半期純利益	623	316

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	647	304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△68
持分法適用会社に対する持分相当額	3	5
その他の包括利益合計	△17	△62
四半期包括利益	630	241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	606	254
少数株主に係る四半期包括利益	23	△13

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,994	4,690	1,842	17,526	1,394	18,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	255	112	—	368	38	406
計	11,249	4,802	1,842	17,894	1,433	19,327
セグメント利益又は損失(△)	585	△21	30	593	△324	269

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
「その他」の区分の損失(△)	△324
セグメント間取引消去	54
全社費用(注)	△465
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△118

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,801	5,706	2,851	19,359	1,615	20,975
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	57	12	252	128	381
計	10,984	5,763	2,863	19,611	1,744	21,356
セグメント利益又は損失(△)	840	1	17	859	△71	788

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	859
「その他」の区分の損失(△)	△71
セグメント間取引消去	44
全社費用(注)	△269
その他の調整額	27
四半期連結損益計算書の営業利益	591

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	6,179	54.6	3,876	33.0	△2,303	△37.3
土木	1,595	14.1	1,584	13.5	△10	△0.7
建築	1,974	17.5	4,070	34.6	2,095	106.1
その他	1,558	13.8	2,214	18.9	656	42.1
合計	11,307	100.0	11,745	100.0	438	3.9

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	11,249	58.2	10,984	51.4	△265	△2.4
土木	4,802	24.9	5,763	27.0	961	20.0
建築	1,842	9.5	2,863	13.4	1,021	55.4
その他	1,433	7.4	1,744	8.2	311	21.7
合計	19,327	100.0	21,356	100.0	2,028	10.5

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (平成23年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	36,955	58.4	37,546	52.3	591	1.6
土木	18,575	29.3	25,135	35.1	6,559	35.3
建築	6,917	10.9	7,794	10.9	877	12.7
その他	884	1.4	1,244	1.7	360	40.7
合計	63,332	100.0	71,720	100.0	8,388	13.2

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

【訂正前】



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東大  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	20,975	10.9	591	—	646	319.5	626	190.9
24年3月期第1四半期	18,921	△7.8	△118	—	154	△90.8	215	△84.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 551百万円(148.6%) 24年3月期第1四半期 221百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	110.00	—
24年3月期第1四半期	37.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	95,695	28,163	29.3
24年3月期	93,473	27,782	29.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 28,043百万円 24年3月期 27,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	10.3	700	6.1	0	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期1Q	5,781,070株	24年3月期	5,781,070株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	82,110株	24年3月期	82,068株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期1Q	5,698,960株	24年3月期1Q	5,699,272株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	10
受注、販売及び繰越高の状況 .....	10



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要等により国内需要が堅調に推移していることから、緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、欧州債務問題や円高の長期化、電力供給の制約や消費税増税への懸念など、今後の見通しについては依然として不確実性を残しています。

建設業界につきましては、公共工事は政府補正予算による震災への復興需要が期待されていますが、本格的な構造物等の建設には未だ至っておらず、今後の発注待ち状態となっています。民間工事においては、企業による設備投資は持ち直しの動きが見られるものの、熾烈な受注・価格競争は継続しており、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは受注量と利益の確保、徹底したコスト削減に取り組み、全社を挙げて業績改善に努めています。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高は11,745百万円（前年同四半期比3.9%増）、売上高は20,975百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

収益面につきましては、営業利益は591百万円（前年同四半期は営業損失118百万円）、経常利益は646百万円（前年同四半期比319.5%増）、四半期純利益は626百万円（前年同四半期比190.9%増）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は10,984百万円（前年同四半期比2.4%減）と前年度とほぼ同水準を確保しました。収益面では、追加・変更等への対応に注力したことに加え、既存工事のコスト削減に努めたことで採算が改善し、営業利益は840百万円（前年同四半期比43.6%増）と前年度を上回る結果となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、PC橋梁工事の施工は概ね堅調に推移し、売上高は5,763百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。収益面では、原価低減に注力した結果、営業利益は1百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）と損失を回避することができました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、年度繰越工事の進捗が順調に推移したことで売上高は2,863百万円（前年同四半期比55.4%増）となりました。収益面では、原価低減に注力したものの、採算の厳しい工事が増加したことで利益を圧迫し、営業利益は17百万円（前年同四半期比42.2%減）に止まりました。

## （その他）

その他におきましては、売上高は1,744百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。収益面では、事業採算の改善に向け原価低減と販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失71百万円（前年同四半期は営業損失324百万円）の計上となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における「資産の部」は、95,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,222百万円(+2.4%)増加しました。これは主に工事債権の回収及び大型工事物件の工事代金入金が進み、現金預金が2,087百万円増加したこと及び進行基準不採用大型工事の影響により未成工事支出金が690百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、67,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,841百万円(+2.8%)増加しました。これは主に大型工事物件の工事前払金の入金により未成工事受入金が1,495百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ381百万円(+1.4%)増加しました。これは主に剰余金の配当により170百万円減少し、当四半期純利益の計上により626百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の29.6%から29.3%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、経常利益及び当期純利益は当社持分法適用会社の損益悪化により前回発表(平成24年5月11日)の予想を下回る見込みであります。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	6,362	8,450
受取手形・完成工事未収入金等	33,043	32,275
未成工事支出金	696	1,386
その他のたな卸資産	646	671
繰延税金資産	17	22
その他	2,250	2,278
貸倒引当金	△217	△11
流動資産合計	42,799	45,073
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	5,160	5,138
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	1,460	1,461
航空機(純額)	1,512	1,463
土地	16,985	16,985
リース資産(純額)	2,543	2,429
建設仮勘定	27	26
有形固定資産合計	27,690	27,505
無形固定資産	880	869
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	882	779
関係会社株式	19,001	19,291
長期貸付金	526	527
その他	2,379	2,335
貸倒引当金	△703	△698
投資その他の資産合計	22,086	22,234
固定資産合計	50,658	50,609
<b>繰延資産</b>		
創立費	15	13
繰延資産合計	15	13
<b>資産合計</b>	<b>93,473</b>	<b>95,695</b>

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,517	21,367
短期借入金	7,765	7,300
1年内返済予定の長期借入金	6,168	6,443
1年内償還予定の社債	160	160
未払法人税等	78	21
未成工事受入金	3,343	4,839
賞与引当金	792	447
完成工事補償引当金	94	89
工事損失引当金	2,403	2,143
損害補償損失引当金	808	808
資産除去債務	5	5
その他	3,313	3,542
流動負債合計	45,453	47,169
固定負債		
社債	275	265
長期借入金	11,557	11,883
繰延税金負債	119	85
再評価に係る繰延税金負債	1,948	1,948
退職給付引当金	3,207	3,184
役員退職慰労引当金	254	252
事業構造改善引当金	40	40
資産除去債務	142	142
負ののれん	597	586
その他	2,096	1,974
固定負債合計	20,237	20,362
負債合計	65,690	67,532
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,063	12,519
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,154	27,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	37
土地再評価差額金	394	394
その他の包括利益累計額合計	494	432
少数株主持分	133	120
純資産合計	27,782	28,163
負債純資産合計	93,473	95,695

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	18,921	20,975
売上原価	17,459	19,061
売上総利益	1,462	1,913
販売費及び一般管理費	1,581	1,322
営業利益又は営業損失(△)	△118	591
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	31	20
受取賃貸料	55	52
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	162	266
貸倒引当金戻入額	306	3
その他	54	37
営業外収益合計	622	392
営業外費用		
支払利息	204	192
賃貸費用	130	127
その他	14	17
営業外費用合計	349	337
経常利益	154	646
特別利益		
固定資産売却益	—	5
保険差益	328	1
その他	—	0
特別利益合計	328	7
特別損失		
固定資産除却損	10	2
投資有価証券評価損	5	—
独禁法違反に係る損失	3	—
災害による損失	7	—
ゴルフ会員権評価損	—	12
退職特別加算金	—	5
その他	1	1
特別損失合計	27	21
税金等調整前四半期純利益	454	632
法人税、住民税及び事業税	125	21
法人税等調整額	89	△3
法人税等合計	215	17
少数株主損益調整前四半期純利益	239	614
少数株主利益又は少数株主損失(△)	24	△12
四半期純利益	215	626

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	239	614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△68
持分法適用会社に対する持分相当額	3	5
その他の包括利益合計	△17	△62
四半期包括利益	221	551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198	564
少数株主に係る四半期包括利益	23	△13

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,994	4,690	1,842	17,526	1,394	18,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	255	112	—	368	38	406
計	11,249	4,802	1,842	17,894	1,433	19,327
セグメント利益又は損失(△)	585	△21	30	593	△324	269

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
「その他」の区分の損失(△)	△324
セグメント間取引消去	54
全社費用(注)	△465
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△118

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,801	5,706	2,851	19,359	1,615	20,975
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	57	12	252	128	381
計	10,984	5,763	2,863	19,611	1,744	21,356
セグメント利益又は損失(△)	840	1	17	859	△71	788

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	859
「その他」の区分の損失(△)	△71
セグメント間取引消去	44
全社費用(注)	△269
その他の調整額	27
四半期連結損益計算書の営業利益	591

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	6,179	54.6	3,876	33.0	△2,303	△37.3
土木	1,595	14.1	1,584	13.5	△10	△0.7
建築	1,974	17.5	4,070	34.6	2,095	106.1
その他	1,558	13.8	2,214	18.9	656	42.1
合計	11,307	100.0	11,745	100.0	438	3.9

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	11,249	58.2	10,984	51.4	△265	△2.4
土木	4,802	24.9	5,763	27.0	961	20.0
建築	1,842	9.5	2,863	13.4	1,021	55.4
その他	1,433	7.4	1,744	8.2	311	21.7
合計	19,327	100.0	21,356	100.0	2,028	10.5

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (平成23年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	36,955	58.4	37,546	52.3	591	1.6
土木	18,575	29.3	25,135	35.1	6,559	35.3
建築	6,917	10.9	7,794	10.9	877	12.7
その他	884	1.4	1,244	1.7	360	40.7
合計	63,332	100.0	71,720	100.0	8,388	13.2

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。